

学びの風便り

リーディングスクール通信30 R6.10.15

発行：松本市教育委員会 教育研修センター

特集！学びの改革のあゆみ 明善小学校・筑摩小学校

明善小学校 ～あのくも、のれるかな のったらどんなきもちかな～

★ くじらぐもにのったらどんなきもちかな～

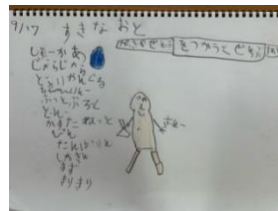
『くじらぐも』の学習をした1年生。「雲に乗ったら楽しいだろうな。」「雲にあがるときはこんな感じかな。」「雲に乗ったらこんなことしたいな。」登場人物になりきって想像がどんどん膨らみます。朝登校すると、少し高台にある昇降口から校庭に続く広い空を見上げて、「あ！くじらぐもあるよ。」「あの雲の形じゃ乗れないなあ。」とつぶやく1年生に、「あっちにも雲があるよ。」「あれなら乗れるかも。」と高学年の子が応える、そんな温かいやりとりが学年を超えて交わされています。

『くじらぐも』という国語の題材を通して、子どもたちの学習活動や、日常生活に広がり生まれています。



★ くじらぐもにのったときのきもちにあうおとをさがそう！

明善小学校では、「主体的に学び合う子ども」を今年度の全校研究テーマに据え、3つのグループ（「子どもの学びをどう見るか」「音楽」「インクルーシブを考える」）に分かれて研究推進をしています。音楽グループでは「子どもの声や願いを大切にしたい楽しい授業づくり」をテーマに研究が進められてきました。1年生の担任のA先生は、『くじらぐも』の学習を手がかりに、一人ひとりがつくりたい音への願いを持ち、「きもちにあうおと」の鳴らし方を表現できることを願って授業づくりをしてきました。A先生は、数年前から明善小学校で続けている低学年期の「学びノート」を、子どもたちの思考を整理するツールとして、またのびのびとした自己表現のひとつとして、国語や音楽を中心に大いに活用してきました。



9月25日の音楽の小学校教育課程研究協議会では、「学びノート」に書かれた子どもの願いや思いを大切にしたい授業が展開されました。色んな楽器を鳴らしてみる子、友だちの音を聴いて工夫を重ねる子、昇降口まで行って空を見上げて雲を確かめた後、音を奏でる子、それぞれが『くじらぐも』の世界に浸りながら「きもちにあうおと」を探す姿がありました。1時間の授業の様々な場面で「すごいね」「ステキだね！」と応じるA先生の温かい雰囲気学級全体を包み込み、安心して自分を表現できる「音探し」を通して心も身体も開かれていく様子が伺えました。

本活動では、物語を読みその世界に浸る（国語）、「くじらぐもに乗りたい！」とみんなで協力して綿を使って大きなくじらぐもを形にすることを楽しむ（図工）、空を見上げて季節を感じ自分がステキだなと思った雲の写真を撮る（生活科）、くじらぐもに乗った時の気持ちに合う音を打楽器で表現する（音楽）など、他教科との横断的な学びが大切にされてきました。これからも、「主体的に学び合う子ども」の姿を目指して明善小学校の取り組みは続きます。

筑摩小学校 「自ら学びをデザインする子ども」を目指し、アップデートへ！

★ 2年目の新たなるチャレンジ！

「子どもの“学びデザイン力”を育てる学校づくり」を目指し、リーディングスクール校として2年目を迎える筑摩小学校。1年目となる昨年度は、「学びデザイン力」を育てるために、「全学年で自由進度学習をしよう」を合言葉に実践を積み重ねました。2年目となる今年は、自由進度学習に加え、4年生から6年生のクラブ活動を「フリースタイルプロジェクト」とし、「子ども自身がやりたいことを、自分でデザインし取組んでいく」学びへと転換しました。2年目のチャレンジの様子について紹介します。

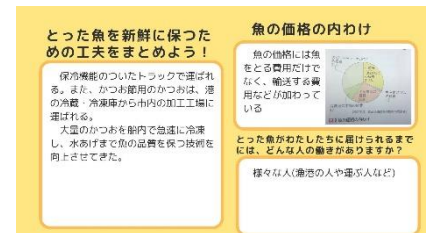
★ 自由進度学習のさらなるシンカを求めて

研究主任のT先生と教務主任のK先生は、2年目の自由進度学習について次のように思いを語りました。

◆自由進度学習は、何度やっても難しいなと感じます。子どもたちは、みんな自由進度学習が好きだけど、黙々と自分のペースでやれるようになっていくかは課題が残ります。先日、研究主任会に参加し、信州大学の佐藤先生が「プリントを使わない自由進度学習をやりませんか」と紹介されました。9月に実施した算数の自由進度学習を振り返ってみると、一人当たりプリントを15枚以上印刷し、手引書と計画書も一人ずつ用意するなど、印刷だけでも大変でした。職員に紹介する前に自分でチャレンジしてみようと、社会科の「日本の水産業」でCanvaを使い教材を作成し、毎時間子どもたちが教科書やタブレットを使って調べ、Canvaにまとめていく実践にトライしました。途中で「遠洋漁業や沿岸漁業などある中で、日本は何をやっていけばよいとあなたは考えますか」などのチェック問題を入れ、一人一人の進捗状況を確認しました。友達の作成したCanvaは、その人の許可を得れば見てもよいことにしました。発展学習では、自分の調べたいことを深めようと「長野県の水産業」について調べる子もいました。Canvaを使うことにより、プリントと違い、友達の学びを参考にできたり、書くことに抵抗を感じていたりする子にも有効かなと思いました。職員に紹介しながら、みんなで自由進度学習の可能性を広げていきたいです。

◆自由進度学習は、新しく赴任してきた先生も含め、どの学年でも取り組んでいます。学年でやるので、負担感も少ないかなと思います。ただ自由進度学習は、学期に1回程度なので、日常行っている一斉授業の中で、自由進度学習で培った「子どもが主体的に取り組む授業」をいかに実現できるかが、今後の課題です。この課題もみんなで共有し、実現に向け取組んでいきたいです。

「持続可能な自由進度学習に」「一斉授業でも子どもが主人公に」など、今後の目指す方向を見出されている先生方です。(筑摩小の自由進度学習の実践は、教育指導時報9月号に掲載されています)



★ フリースタイルプロジェクトへの挑戦

フリースタイルプロジェクトとは「自分の興味・関心にもとづいて学習テーマを設定して学習を計画する。活動計画に沿って、学習を進め、振り返りをして計画をねりなおす。テーマを達成するために自分で考えて行動し、あきらめず取り組む」ことをめあてに、10時間で活動します。昨年、奈須正裕先生が紹介された天童中部小学校へ参観に行き、「個人総合」として取り組んでいるのを見て、筑摩小でもできるのではと考え、職員で検討し取組むことにしました。具体的な活動は次の通りです。

- ・サッカー ・野球 ・ボール投げ ・走る ・バスケ ・バドミントン ・バレエ ・ダンス
- ・マット ・一輪車 ・ダンス ・ピアノ ・ギター ・太鼓 ・工作 ・写真 ・卓球 ・ヨーヨー
- ・読書 ・調理 ・折り紙 ・裁縫 ・まんが ・絵 ・外国語 ・虫植物 ・パズル ・コンビニ 等

折り紙や絵のように一人で活動する子もいれば、ダンスやサッカーのように共通の課題を友だちと協力して追究する子もいます。初めてピアノに挑戦しているAさんは、楽譜が読めないでタブレットで楽譜を調べ、どの指でどの鍵盤を押せばよいか教えてもらいながら演奏していました。自分たちの追究の様子は、Canvaにまとめ発表する子が多いそうです。10月末の発表会では、3年生も参加し、先輩の追究の足跡を見届け、次年度へつなげます。

